



江南市政レポート

5月臨時会開催

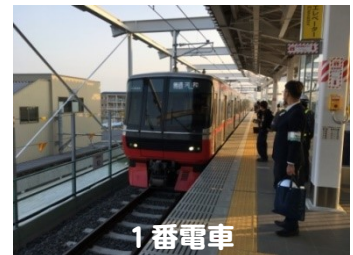
平成29年5月11・12日に臨時会が開催され、新しい議長に**牧野圭佑**さん（江南クラブ）、副議長に**東義喜**さん（日本共産党江南市議員団）が決まりました。

私は常任委員会の**厚生文教委員会委員長**、特別委員会の**議会改革特別委員会委員**、その他**ICT推進検討委員会委員長**、現在のごみ焼却施設の一部事務組合（江南市・大口町・扶桑町）である**江南丹羽管理組合議会議員**を務めることとなりました。

市政レポート

◆鉄道高架化布袋駅上り線ホーム供用開始

6月10日（土）始発列車より、**名鉄犬山線上り線高架ホーム（名古屋方面）**が利用できるようになりました。前回3月末までに利用開始予定とお知らせしましたが、工事が遅れていました。今後は仮設の上り線ホーム等を撤去した後、平成32年度末完成予定で、下り線（犬山方面）の鉄道高架化工事を行っていきます。



◆新体育館の建設が始まりました

6月22日（木）の厚生文教委員会後に、委員会として建設現場の視察を行いました。進捗状況は順調でした。今後も委員会毎に進捗状況の報告を要望しました。なお、**新体育館は平成30年3月末に完成、5月開館予定**で、市としては初めて**ネーミングライツ（命名権）**を導入します。

◆新ごみ処理施設建設のための尾張北部環境組合が設立

江南市・犬山市・大口町・扶桑町の2市2町による一部事務組合の「尾張北部環境組合」が設立されました。この組合が**江南市中般若町北浦地区に建設予定の新ごみ処理施設整備の事業主体**となります。平成37年度の新施設供用開始を目指し、事業を進めていきます。

◆タブレット端末を使用したペーパーレス会議の導入

昨年3月定例会の一般質問で提案しました「タブレット端末を使用したペーパーレス会議システム」が、この**6月定例会から江南市議会へ導入**されました。昨年6月にICT推進検討委員会を立ち上げ、私が委員長を務め、協議と準備を進めてきました。紙の削減や市職員の労働時間短縮目的だけでなく、市民の方にわかりやすい議会を目指して、さらなるICTの活用を推進していきます。



◆第1回「こうなんDay」を開催

昨年6月定例会の一般質問で「5月7日を57（こうなん）の日として市民の皆さんが喜ぶイベント等の開催」を提案しましたが、本年5月7日に「こうなんDay」が江南藤まつり最終日に開催されました。全国消防操法大会へ愛知県代表として出場する

江南市女性消防団の激励に、大村愛知県知事、名探偵コナン君、地元のアイドルグループが駆けつけてくださり、また、多くの市民の皆さんが参加してくださいました。



6月定例会開催

6月8日（木）から28日（水）まで6月定例会が開催され、13日（火）～15日（木）に一般質問が行われました。私の主な質問内容は下記の通りです。

1. 教育行政について

(1) 学校給食について

(問) 江南市における食育の取り組みや児童生徒の給食への満足度を尋ね、さらに、図書給食（本に登場する食べ物を給食で再現する）を提案しました。※写真は学校給食で人気が高いカレーとレンコンチップ



(答) 食育の推進のため農業体験を導入しています。毎月19日を「食育(いく)」の日として江南市産・愛知県産の旬な食材を利用した献立を提供したり、児童生徒から献立を募集（優秀な作品は表彰するとともに実際の給食に取り入れる）したりしています。また、学校生活アンケートでは給食がおいしいと感じる児童生徒の割合は小学校で90.2%、中学校では82.2%です。市では北部と南部の給食センターで、大量調理をしているため図書給食は困難と考えますが、食育の推進については今後も多方面から検討していきます。

(2) 学校図書館の図書整備について

(問) 文部科学省の「第5次学校図書館整備5か年計画」を受けて、小中学校の学校図書館図書整備状況を尋ね、更なる拡充を要望しました。※整備計画の内容は①図書標準の達成、②新聞の複数紙配備（小学校1紙、中学校2紙）、③学校司書の配置拡充（1.5校に1名）です。

(答) 図書充足率は小学校では9校で100%を達成し、1校が98.9%です。中学校では3校で100%を達成し、1校が88.1%、1校が86.4%です。新聞は平成27年度から全小中学校15校の学校図書館へ1紙を配備しています。図書館司書は全小中学校15校に9名（生徒数の多い古東小、古南小、布袋小は1名、その他の学校は2校兼務）を配置しています。

(3) 教職員の多忙化解消について

(問) 愛知県教育員会の多忙化解消プランを受けて、江南市教育委員会としてはどのように取り組んでいくかを尋ね、教育長の多忙化解消に対する考えを聞きました。

(答) 教職員の長時間労働を改善し、教職員が誇りと情熱を失うことなく、意欲・やりがいを高め、健康で充実して働き続けることができるようにしていかなければと考えています。そして、教職員が一人ひとりの子どもに丁寧に関わりながら、質の高い授業や個に応じた指導を実施していく必要があります。そのため、江南市の教職員の多忙化解消に向けた環境づくりを積極的に推進し、教職員が本来果たすべき役割は何かを明確にしながら、校長会と一体となって取り組んでいきます。

2. ネーミングライツの推進について

(問) 江南市が初めて導入するネーミングライツ事業の新体育館での進捗状況を尋ね、原則すべての施設をネーミングライツの対象にと提案しました。さらに、**約1,700万円の予算で補修工事を行う東野町の道路横断歩道橋**で、ネーミングライツパートナーを募集してはどうかと提案しました。 ※写真は東野町の道路横断歩道橋



(答) 江南市のネーミングライツ事業実施要綱が4月1日より施行されており、新体育館においてもこの事務を進めています。東野町の道路横断歩道橋は、学校の夏休みを中心として11月頃の完了を目途に補修工事を行います。工事の完了に合わせ、県内の実施事例を参考にし、**ネーミングライツ募集要項の作成を進めていきます。**

3. 都市公園の整備について

(問) 中央公園の噴水設備は、流路部に水がなく、噴水池の噴水が稼働しておらず、その修繕には多額の費用がかかります。現在の流路部を**健康器具**の設置場所または名古屋市が行っているような**スポンサー花壇**等として再整備を行うことを提案しました。 ※写真は中央公園の噴水池



(答) **流路部への健康器具の設置は、噴水設備を存続させない方針が決定した場合には活用方法の1つとして検討していきます。**スポンサー花壇については、大きな公園には市民の方に管理をお願いしていない花壇も存在するため、制度の内容やニーズなどを調査・研究していきます。 ※写真は名古屋市のスポンサー花壇

4. 「暮らしが花ひらく生活都市。」について

(1) 子育て世代向けバスツアーについて

(問) 奈良県生駒市が「暮らしやすいまち、生駒」の魅力を実感してもらうために、子育て世帯向けのバスツアーを開催して好評を博しています。江南市でも市外の子育て世帯向けに、子育て支援センター、児童館、公園などを紹介するツアーを企画し、**子育てしやすい江南市をPR**することを提案しました。 ※写真は電車内吊り椅子



(答) 子育て世代向けのバスツアーは、市の子育てしやすい環境をPRするひとつの方策であると考えます。また、生駒市では**国の制度などを活用した転入者への補助**も行っていることから、**この制度について検討していきたい**と思います。

(2) 地元企業発見バスツアーについて

(問) 三重県四日市市が「地元企業発見バスツアー」を開催しています。市内外の若者対象に、市内の優良企業を知ってもらい、将来的には市内企業に就職し、そして、江南市に住んでいただければと思います。四日市市などの事例を参考に、**企業振興策の1つとして、高校生を対象とする江南市版の地元企業発見バスツアーの実施**を提案しました。

(答) 毎年実施している景況調査や企業訪問でのヒアリングにおいては、近年、**人材不足を問題として挙げられる事業所が多い状況**であることから、高校生を対象としたバスツアーは、企業への振興策として人材確保に繋がる施策の1つになると考えます。今後は企業の意向を確認し、**実施に向けた検討をしていきます。**

5. 第52回江南藤まつりについて

(問) 今年の江南藤まつりにおける来場者数などの総括を尋ねました。

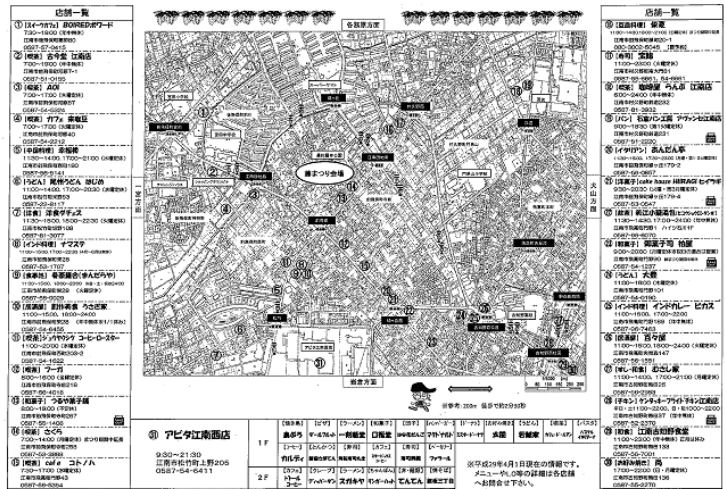
(答) 今年のお来場者数は、4月20日から5月7日までの18日間に**47万1千人**の方にご来場いただきました。今年のお藤は開花が遅かったため、4月中のお来場者は比較的少なく、見ごろを迎えたゴールデンウィーク中に来場者が集中しました。また、観光バスで、今年はお外国人の方、特にアジア系の方のお来場が増えており、今後はインバウンド観光を視野に入れ、**外国人観光客の受け入れ態勢の整備を検討する必要があります**と考えています。

(問) 津島市の藤まつりでは、会場に近い駐車場で駐車場整理協力金1000円を徴収していますが、300円分のクーポン券を渡しています。また、岩倉市の桜まつりでも会場に近い駐車場で環境保存事業協力金1000円を徴収していますが、300円分のクーポン券を渡しています。江南市でも**地元振興策としてクーポン制度の実施を提案**しました。

(答) 江南市では会場周辺で運営されている民間駐車場の事業者の皆様にご協力していただく必要があり、意向を確認したいと思ひます。また、現在無料駐車場としている門弟山小学校など、会場に近接する小中学校を主催者直営の有料駐車場として活用するなど、**クーポン制度の導入ができないかも含め、今後調査・研究していきまひす**。

(問) 今年のお藤まつりの会場にて、「江南藤まつりグルメマップ」というチラシを配布しているのを目にしました。実際にこのようなチラシを配って、会場周辺地域店舗への来客効果があったのかを確認し、次年度以降はさらに範囲を広げての作成を要望しました。

(答) 江南藤まつりの来場者に**会場周辺の飲食店を知っていただくための新たな取り組みとして、今年度より会場周辺の飲食店を紹介する「江南藤まつりグルメマップ」というチラシを作成して、会場内および紹介している各店舗にて配布**しました。藤まつり会場では多くの来場者へ配布することができ、反応も好評であったと認識しています。また、グルメマップの作成段階において、周辺店舗にチラシへの掲載をお願いしましたところ、例年藤まつり期間中は繁盛しているといった声も多数あり、中にはこれ以上来客が増えるとお対応できないのでグルメマップには掲載しないで欲しいという店舗もありました。グルメマップの効果につきまして、掲載している店舗に聞き取り調査を実施しましたところ、**昨年よりお客が増えた印象を持っているとお答えいただいた店舗が多くありましたので、ある程度のお効果があつたと推測しています。来年度以降も、掲載内容の充実や改善を図りつつ、「江南藤まつりグルメマップ」の作成、配布を継続していきまひす**。



◇市政へ対するご意見、ご要望、ご質問および地域的課題なども下記へご連絡ください。

藤岡和俊後援会 藤和会(とうわかい)

電話&FAX (0587) 53-4050 〒483-8258 愛知県江南市上奈良町郷11番地1

URL ; <http://www.towakai.jimdo.com/> e-mail ; kazutoshi_fujioka@yahoo.co.jp